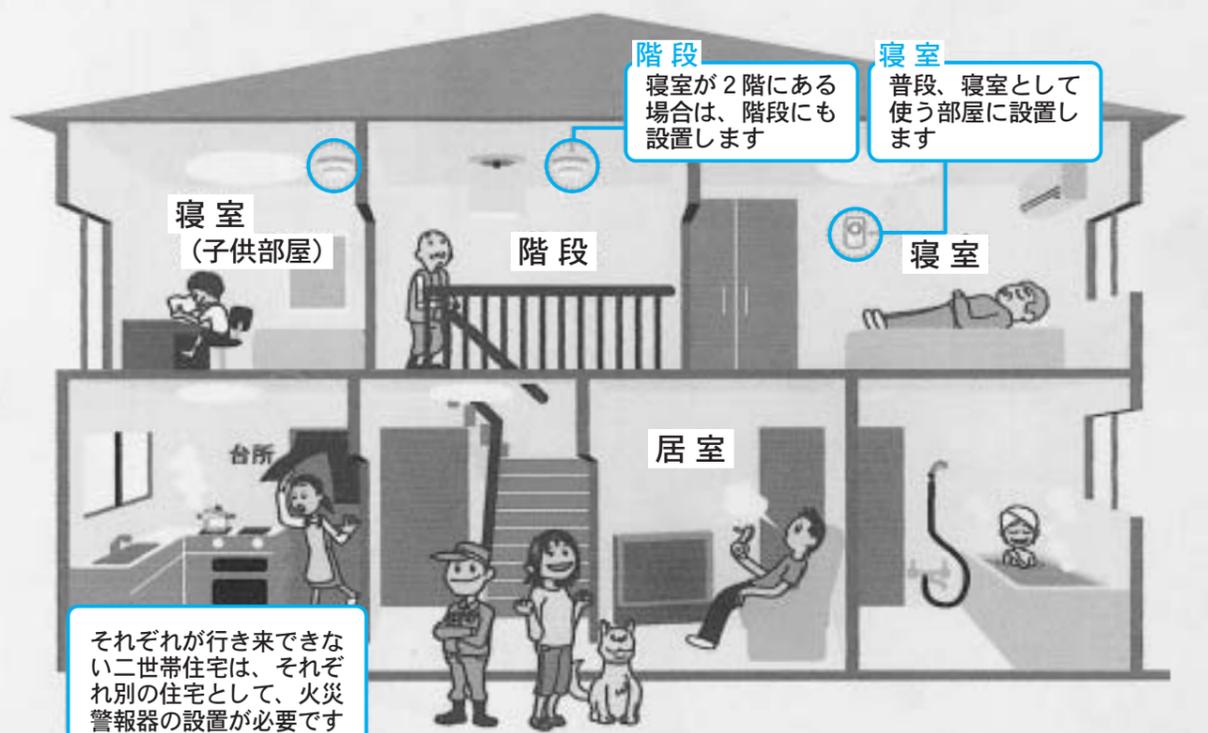
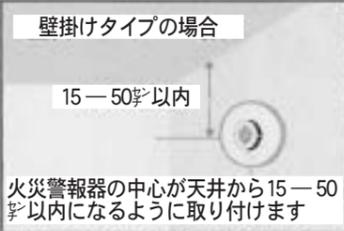


◆住宅用火災警報器の設置場所と取り付け方法◆

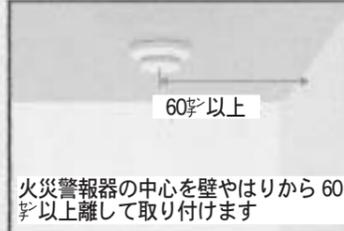


■壁へ取り付ける場合の注意点

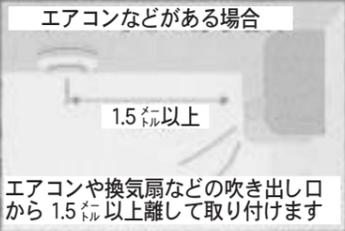


火災警報器の中心が天井から15—50センチ以内になるように取り付けます

■天井へ取り付ける場合の注意点



火災警報器の中心を壁やはりから60センチ以上離して取り付けます



エアコンや換気扇などの吹き出し口から1.5メートル以上離して取り付けます

取り付け方法

◆市内の住宅用火災警報器取扱店(遠野消防署調べ)

取扱店	連絡先	取扱店	連絡先
マル斗産業	62-4033	デンコードー遠野店	62-0555
遠野新高電気	62-2447	コメリホームセンター遠野店	63-2001
遠野興産	62-3692	ホームック遠野店	62-6800
泉商店	62-2071	立石工務店	63-1731
ユアテック遠野営業所	62-2249	光電気工事	62-8841
山本無線商会	62-3588	オリカサジュウケン	62-5620
三共電業社	62-2248	大久保電気工事	68-2250
大容電気商会	62-2465	細川電機	65-3250
日誠電器	62-6359	菅原電機	67-3038
北豊	62-4045	桐田デンキ	67-6250
新興電気	62-2877	サトーデンキ商会	67-3206
エルプラザあさみず	62-3655	フロム	67-2204

してくる場合があります。火災警報器の取り付けや点検は、個人でも簡単にできます。未設置でも罰金などの罰則はありませんので、くれぐれも悪質な訪問販売には注意してください。消防署は、火災警報器の必要性や購入の際の注意点などについての「防火教室」を開催し

ています。自治会や団体の集まりに職員が出向いて説明します。みんなで火災警報器に関する知識を身に付け、昼間に一人で留守番している高齢者などが被害に遭わないよう注意しましょう。問い合わせ先は遠野消防署予防係(☎4311)または宮守出張所(☎2222)

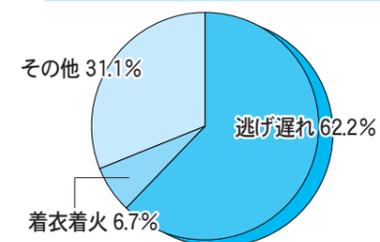
取り付けよう火災警報器

「住宅用火災警報器」設置義務化

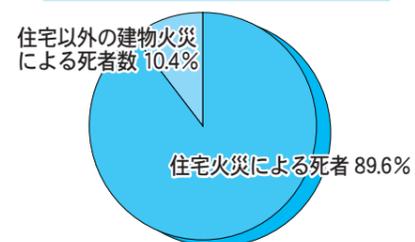
新築住宅は平成18年6月1日から

既存住宅は平成21年5月31日までに

住宅火災による死者数 1,038人



建物火災による死者数 1,159人



平成16年中の火災データ(消防庁) ※放火自殺者を除く

住宅火災による死者が急増中

平成十六年中の建物火災による死者のうち、住宅火災による死者数は89・6%を占めています。近年ではホテルや旅館、百貨店などよりも火災件数当たりの死者数が五十倍程度となつて

おり、住宅は建物の中でも最も死者が発生しやすいといえます。住宅火災による死者の発生状況を経過別にみると、逃げ遅れが最も多く、全体の62・2%を占めています。

死者が発生した火災を時間帯別にみると、午後十時から翌朝午前六時までの睡眠時間帯における死者が44・9%を占めています。火災の発生に気付かないために、逃げ遅れて亡くなる人が多いと考えられています。また、死者が発生する火災の出火場所の多くは居室で、台所からの出火は約10%となつています。

火災警報器とは?

煙式タイプといわれるもので、火災により発生する煙を感知して、「ピー、ピー」という大きな警報音が鳴ったり、「火事です」という音声を流して火災の発生

を知らせてくれます。火災を早期に見ることができると、住宅に適しています。電池を使うタイプと家庭用電源を使うタイプがあり、それぞれ天井に取り付けるものと壁に取り付けるものがあります。遠野消防署は、規格に適合したことを表す「NSマーク」が付いている「乾電池式」の火災警報器を推奨しています。

規格適合を表すNSマーク



天井型火災警報器



火災警報器はどこに設置する?

【設置場所】原則として、すべての寝室に設置します。二階以上に寝室がある場合には階段にも設置しなければなりません。

【取り付け位置】

▼天井の場合 火災警報器の中心を壁やはりから60センチ以上離して取り付けます。
▼壁の場合 火災警報器の中心が天井から15—50センチ以内になるように取り付けます。
▼エアコンなどの吹き出し口付近 火災警報器の中心をエアコンや換気扇などの吹き出し口から1・5メートル以上離して取り付けます。

悪質訪問販売に注意

火災警報器の本体価格は、五千円から一万円程度の物が主流です。市内の電器店や量販店、住宅建築部材を取り扱っている店舗で購入することができます。市職員や消防職員が訪問販売することはありません。今後、悪質な訪問販売業者が不当な価格で、適正でない火災警報器を売り歩くことも懸念されます。また、本体価格が安くても高額な取り付け料や点検料を請求